

事業所名： 天心堂ホームヘルプステーションたんぼぼ戸次事業所

職場環境要件項目と当事業所の取り組み

区分	具体的内容	当事業所の具体的な取り組み
入職促進に向けた取組	①法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 ③他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）の実施	①研修を通し新人および現任スタッフへ理念を伝えている。また、常に着用しているネームプレートに記載 ②30代～50代と幅広い年代層の採用を行っている（2024年実績）
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑤働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 ⑧上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	⑤より専門性の高い介護技術を取得するために同行援護や強度行動障害等資格取得支援を行っている ⑧毎年意向調査に加え一人一人面談実施。また、随時相談対応を行っている
両立支援・多様な働き方の推進	⑩職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 ⑪有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標（例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得）を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	⑩非常勤から正社員、拘束ありのパート等個々の働きに対し身分変更を行っている（2024年実績） ⑪有給取得率（年間最低5日以上）を定め全員が達成できている。また、状況に応じた有給休暇の日数を各職員へ周知、取得するよう促している
腰痛を含む心身の健康管理	⑭短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施 ⑯事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	⑭法人で職員身分関係なく健康診断・ストレスチェックが毎年1回以上は必ず行われている。また、休憩室も確保できている ⑯事故・トラブルに対するマニュアル作成しており、契約書にも記載。車両に関しては専属の課があるため連携を図っている
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	⑰厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ又は外部の研修会の活用等）を行っている ⑲5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている ⑳業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている ㉑介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	⑰事業所でガイドラインに基づきプロジェクトチームの立ち上げ実施。毎月1回以上会議及び話し合いを実施 ⑲5S活動を行い、毎月1回巡視（安全衛生委員会）が行われ、指導・改善を行っている ⑳業務手順書作成・記録・報告書等情報共有できるように1人1台スマートフォン貸し出し。ビジネスチャットツールで電子化 ㉑記録や情報共有等タブレット端末やスマートフォン使用
やりがい・働きがいの醸成	㉕ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 ㉗利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	㉕月2回以上ミーティング等（会議）実施し、コミュニケーションの円滑化や研修・検討会などで内容の見直し及びスキルアップに努めている ㉗研修（認知症・虐待防止・権利擁護等）を通し利用者主体のケアや介護保険・障害福祉サービスを学ぶ。理念も同様